

AngularJS のメモ

AngularJS は、JavaScript 向けの MVC フレームワークです。

このページの内容は、AngularJS 1.1.2(2013/02/21 現在、開発版) をもとに記述しています。

既存の MVC フレームワークとの違い

perl における Mojolicious など一般的な MVC フレームワークとは、MVC(Model, View, Controller) という各要素の持つ意味が、厳密には異なります。フロントエンドとバックエンドのフレームワークとしての違いもあります。

AngularJS において、MVC の各要素は次のような役割になります：

- Model
 - AngularJS では、Controller が持つ要素(プロパティ、メンバ変数)のことです。既存の MVC とは異なることが多いため、注意が必要です。
- Controller
 - AngularJS では、簡潔的なビジネスロジックを記述します。(Controller はコンパクトにすべきであり、これに収まらないビジネスロジックや、複数のコントローラをまたぐ処理は、Services として記述します。)
- View
 - Template (HTML) - これは一般的な MVC と同じで、プレゼンテーションロジックです。AngularJS では、HTML の DOM 構造から自動的に View を組み立てます。また、そこにコントローラを対応させ、スコープを作ります。
 - Directive - View は Template によって自動化されていますが、もし、DOM に対する操作を独自に行いたい場合は、Directive として記述します。
 - Filter - View への Model(値)の出力形式(例：通貨形式、日付形式など)を設定したり、何らかの抽出処理を行いたい場合は、Filter として記述します。
 - Service - 複数の Controller で共有するようなクラス、処理は、Services として記述します。HTTP 通信などもここに記述されることが多いようです。(既存の MVC では、Model にあたる場所 ... かもしれません。)

ドキュメント日本語訳プロジェクト

AngularJS の公式ドキュメントを日本語訳するため、有志によって活動を開始したプロジェクトです。

(微力ながら私もお手伝いしています ...。)

<https://github.com/angularjs-jp/angular.js/wiki>
